

事故の背景要因に対する聞き取り調査手法と教育プログラム

宮地由芽子 鏑木俊暁 岡田安功

ヒューマンエラーに起因する事故等の防止のためには、その発生に影響する背景要因を把握する必要があります。そこで、我々は鉄道の現業機関の助役等が事故等の発生状況や背景要因についての情報収集を効率的に行うための聞き取り調査手法とその教育プログラムを開発しました。また、これらの有効性の評価を行いました。

実際に現業機関での新手法を試行した結果、調査の実施者による自由報告を促す発言や背景要因に関する質問の発言量が増え、対象者である事象の関係者の背景要因についての供述量が有意に増加しました(図)。これにより、背景要因に関する情報収集を行うための手法として有効であ

ることを確認しました。

一方、新手法に対する認知と調査態度の関係を分析した結果、一部の側面ではありますが、教育プログラムを受けることによって手法の内容理解が望ましい方向に促進することを確認しました。

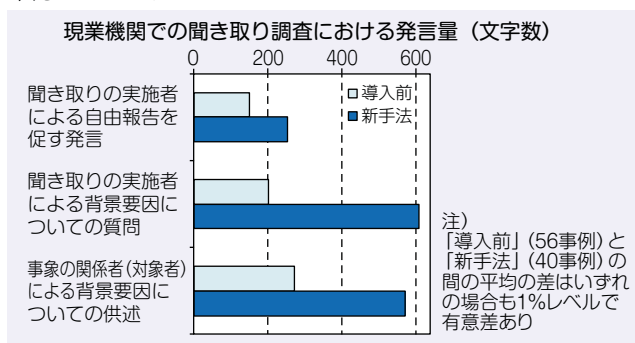


図 調査場面の発言量の比較結果